

DSO参加機関 公開イベントのご案内

■千葉大学■ ダイバーシティCHIBA研究環境促進コンソーシアム連絡会

組織における女性活躍促進・ダイバーシティ推進をどう進めるか

【日時】平成29年6月16日(金)13:00~14:30

【行事名】第1回ダイバーシティCHIBA 研究環境促進 コンソーシアム連絡会

【題名】組織における女性活躍促進・ダイバーシティ推進をどう進めるか

【講師】日高乃里子氏

(帝人株式会社人財部ダイバーシティ推進室長)

【場所】千葉大学西千葉キャンパス

アカデミック・リンク・センター3階きわみ

【申込方法】E-mailまたは、TEL、FAXにて下記へご連絡ください

【連絡先】

千葉大学運営基盤機構 男女共同参画推進部門

TEL : 043-290-2020 E-mail : diversity-office@chiba-u.jp

【開催機関】千葉大学

【対象】DSO参加機関以外も可



■産総研■ ワーク・ライフ・バランス セミナー

みかた

みかた

男の看方、女の見方——人間関係とジェンダーの視点で介護のしかたを考える

【日時】平成29年6月20日(火)13:30~14:30

【行事名】第11回ワークライフバランスセミナー

【題名】男の看方、女の見方

——人間関係とジェンダーの視点で介護のしかたを考える

【講師】平山亮氏

(東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム研究員)

【場所】産業技術総合研究所 つくばセンター中央 共用講堂2階 大会議室

【申込方法】wlb-sec-ml@aist.go.jp ヘメールにてお申し込み下さい。

【申込期限】6月8日(水)

【開催機関】産業技術総合研究所

【問合先】国立研究開発法人 産業技術総合研究所 総務本部

ダイバーシティ推進室 TEL : 029-862-6418 FAX : 029-862-6882

E-mail : diversity-web-ml@aist.go.jp

【対象】DSO参加機関のみ



■ 農研機構 ■ ワーク・ライフ・バランス セミナー

「チーム育児のすすめ」～育児は仕事の役に立つ？！

【日時】平成29年6月29日(木)13:10～15:30

【講師】農研機構職員

【行事名】ワークライフバランスセミナー

【題名】「チーム育児のすすめ」～育児は仕事の役に立つ？！～

【場所】食と農の科学館 オリエンテーションルーム(茨城県つくば市観音台3-1-1)

【申込方法】<https://pursue.dc.affrc.go.jp/form/fm/naro003/20170629>

【申込期限】平成29年6月26日(火)

【開催機関】農研機構

【問合先】農研機構本部男女共同参画推進室

(TEL029-838-7307)

【対象】DSO参加機関のみ

イベント参加報告

はじめて知りました。LGBTイコールLGB+Tってこと。

ー筑波大セミナー「LGBT等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドラインの策定について」

【日時】平成29年年5月9日(火)

【場所】筑波大学

【基調講演】虎井まさ衛氏(立教大学兼任講師・東京学芸大学非常勤講師)「大学内の多様な性～トランスジェンダーを中心に～」

女性同性愛者(レズビアン、Lesbian)、男性同性愛者(ゲイ、Gay)、両性愛者(バイセクシュアル、Bisexual)、トランスジェンダー(Transgender)それぞれの頭文字からなる、セクシャル・マイノリティを表す言葉がLGBTです。今回、基調講演を頂いた、虎井まさ衛先生は、2歳の時に「今は女だけど、大きくなったら男になるんだ」と思っていたそうです。しかし、10歳の時に受けた保健の授業で男になれないという事実を知りました。その日からお金を貯め、大学終

了後4日目に渡米し性適合手術を受けたそうです。セクシャル・マイノリティの当事者の一人である虎井先生は、

「LGBTという言葉は“限定的”で、当てはまらない人たちが多い。」

とおっしゃっていました。大変お恥ずかしい限りですが、今回初めて知りました。それでは、どのように“限定的”なのでしょう？例えば、LGBTのほかにも、セクシャル・マイノリティには他者に対し性的欲求を全く抱かない人、性的欲求はもちろん恋愛感情もない人、全てのジェンダーが恋愛・性愛対象となる人などがおり、多様です。そのため、LGBTの4文字の後にTQQIAAP・・・と、続くそうです。お気づきのよ

うに、LGBTだけでは、すべてのセクシャル・マイノリティを表現できず、限定的になってしまいます。そこで、すべてのセクシャル・マイノリティを表現するために、性指向 (Sexual Orientation) を表すSO、性自認 (Gender Identity) を表すGIを合わせて、SOGIという呼称を使用する動きが出てきました。

さらに

「LGBTとひとくくりにされることが多いが、LGBとTは全く別のこと。」

ともおっしゃっていました。大変お恥ずかしい限りですが、こちらに関しても無知でした。LGBは同性愛等の性的指向がありますが (SOにあたる)、自身の心の性と体の性は一致しています。T (トランスジェンダー) は言葉の通り心の性と体の性が一致しておらず (GIにあたる)、そのため不安に押しつぶされそうな日常を送っています。学生生活でも就職活動などでも大きな困難を抱えることが多いということです。例えば、男子を「くん」で呼び、女子を「さん」で呼ぶことは、Tの人たちには大きな心の負担になるそうです (そういえば、私の子供が通う小学校の担任の先生は、生徒のことを皆「さん」で呼んでいることに気が付きました)。書類の上で心の性と違う性を選択しなければならないときの精神的な苦痛など、日常的に様々な困難があります。また、「トランスジェンダー

は同性愛の成れの果てだ」と軽くいう人がいるそうですが、このような発言に当事者たちは深く傷つくとのこと。当事者には言葉を慎重に選んで接してほしい、そばで支えてくれる相談相手になってほしい、とのお話がありました。冷静に状況を判断し、適切にアドバイスをするためには、当事者から学ぶ姿勢が必要だとのこと。虎井先生からは、最後に「LGBTって何だろう?」 (合同出版) という本の紹介がありました。

平均すると13~14人に1人セクシャル・マイノリティの方がいるそうですが、森林総研にはこれらの方々を支援するシステムがまだありません。当事者たちの苦しみに寄り添い、伴走するような気持ちで接することができるよう、心配りをしていきたいですね。

(森林総合研究所 野生動物研究領域 鳥獣生態研究室
ダイバーシティ推進室併任
永田純子 記)

ニュースレターへ記事をご投稿ください!

「DSO News Letter」は各DSO参加機関へ、それぞれで働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして原則毎月最終週に発行しております。掲載を希望する記事がありましたら、数行の記事でも結構ですのでぜひお寄せください。

- ・シンポジウムやセミナー、講演会など、イベントのお知らせ
- ・最近行われたイベント報告、あるいは参加報告
- ・最近取組中のこと
- ・その他、お役立ち情報や関連情報

宛先: dso-secretary@ffpri.affrc.go.jp

ダイバーシティサポートオフィスのご案内

ダイバーシティ・サポート・オフィス (DSO) は、研究教育18機関をメンバーとして、平成19年より男女共同参画を連携して推進しています。参加機関相互のイベント等の機会提供、情報交換を行っています。

*DSOメンバー: 産業技術総合研究所、森林総合研究所、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、千葉大学、筑波大学、神戸大学、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、岡山大学、宇宙航空研究開発機構、大阪大学 (加入順)